



### 交通事故「ゼロ」を目指して

1月6日、市と市内交通安全関係3団体(土浦地区交通安全協会かすみがうら支部、市交通安全母の会、市女性ドライバー友の会)は、「年頭の交通安全街頭キャンペーン」を実施し、自動車運転手の方へ啓発品を配布しながら交通事故防止を呼びかけました。飲酒運転の根絶や早めのライト点灯、自転車の安全利用など、一人一人が交通安全意識の向上を図り、市民の皆さんとともに交通事故「ゼロ」の安全なまちづくりを目指します。



### オンラインでつながろう

1月18日から計5回にわたり、あじさい館で「ZOOMの基礎と活用」を開催しました。スマホやパソコンのカメラ機能を使って、離れた場所にいる複数人とオンラインで会議やビデオ通話などの対話ができるZOOMを、自分のパソコンで使えるよう一連の操作を学びました。オンラインで対話する方法を学んだ参加者からは、「遠方にいる家族とオンラインで連絡する方法が分かったので、早く実践したいです」と感想がありました。



### 消防出初式 自らの地域は自らで守る

1月8日、体育センターで「市消防出初式」を開催しました。出初式とは、地域住民などに火災予防に対する意識を持たせることや消防行政の功績者に対する表彰などを行う、消防の仕事始めの行事です。今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模を縮小し、市長観閲を行わず、式典のみの開催となりました。「自らの地域は自らで守る」という役割を再認識し、士気を高めていました。



### 生ごみリサイクルで環境にやさしく

1月29日、あじさい館で「生ごみリサイクル! EMぼかし容器を活用しよう」を開催しました。EMとは「有用性微生物群(Effective Microorganisms)」の略称で、EMぼかし容器を使い、家庭の生ごみをたい肥としてリサイクルすると、排出される生ごみが減るため、焼却量の削減や収集車の運搬効率が向上し、CO2排出量の削減につながります。環境問題に関心の高い参加者の皆さんは、使い方などについて積極的に質問をしていました。



### 冬景色の中、野鳥を観察

1月9日、雪ふれあいの里公園で「冬のバードウォッチング」が開催されました。雪が残る雪入山に生息する野鳥をじっくりと観察する参加者。エサを取るルリビタキや、池でのんびりと休んだり羽づくろいしているカモなど、望遠鏡やスマホのモニターに映し出された野鳥との出会いを楽しんでいました。参加者からは「鳥の姿がかわいくてきれい」「望遠鏡でこんなに大きく見えるんだ」と感想がありました。



### 節分の豆入れをつくろう

2月2日、やまゆり館で「節分制作 鬼の豆入れをつくろう」が開催されました。昨年の節分の時期は臨時休館中で開催ができなかったため、今回の開催を喜びながら参加する親子の姿も見られました。紙コップに色紙を貼って鬼の顔を作り、取っ手を付けると、赤鬼や緑鬼など色とりどりの鬼の豆入れが完成。参加した親子は、出来上がった豆入れを持ってフォトスポットで記念撮影を行い、節分の思い出の1ページを残していました。



### キックボクシングで気分爽快

1月15日、千代田公民館で「キックボクシングエクササイズ」を開催しました。音楽に合わせてパンチやキックをすることで全身が使われ、気持ちの良い汗を流せ、ストレス発散や血行促進などによる免疫力のアップ、お腹の引き締めによるダイエット効果が期待できます。参加者からは「初心者でもリズムに乗って楽しく体を動かしました」「とても疲れたが健康に良いと感じました」と感想がありました。



### 声を合わせて「鬼は外、福は内」

2月3日、第一保育所で「節分の豆まき会」を行いました。子どもたちは、自分で作った個性豊かな鬼のお面やますを持って所庭へ向かい、節分の由来や豆をまいて心の中の悪い鬼を追い払うことを教えてもらいました。鬼が現れると、驚いてしまう子もいましたが、勇気を持って立ち向かい、「鬼は外、福は内」と掛け声を合わせて豆をまきました。悪い鬼を退治でき、みんなで楽しい春を迎えられることでしょう。

